

【働く】施策の柱14

①予算事業名	国際海洋資源・エネルギー利活用推進事業	予算科目	2-1-10-24	基本構想上の位置づけ 上段：「島づくり目標」 下段：「施策の柱」	連携する産業振興
②担当部課名	プロジェクト推進課	事業実施(予定)年度	H30~H32		基本計画の該当箇所
③事業内容					

・海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、平成26年7月21日に「国際海洋資源・エネルギー利活用推進コンソーシアム」が設立された。本コンソーシアムが主体となって、取水量10万トン敷設と国際海洋資源・エネルギー研究センター建設を目指す。本事業では海洋深層水の多段利用を図るため、取水量10万トン敷設に向けた事業化に取り組む。

④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()
-------	---

		28年度	29年度	30年度	31年度(予定)	32年度(予定)
⑤事業費 【単位:円】	(a) 国庫					
	(b) 県費					
	(c) 地方債等					
	(d) 一般財源	9,794,000	6,091,000	5,739,000	100,000,000	100,000,000
	計(a~d)	9,794,000	6,091,000	5,739,000	100,000,000	100,000,000
特定財源名		(a) または (b) の名称			(c) の名称	

年度	実施する具体的な事業の内容
平成30年度	海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、取水量10万トン敷設に向けた事業化に取り組む。(国、県への働きかけ、事業申請等)
平成31年度(予定)	海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、取水量10万トン敷設に向けた基礎調査(深淺測量・環境生物調査等)を行う。
平成32年度(予定)	海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、取水量10万トン敷設に向けた基礎調査(磁気探査・土質調査等)を行う。

成果目標(指標)		基準値(29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値(37年度)
		深層水利用企業の年間総売上額	目標 ()	(-)	(-)	(-)
※深層水供給開始時期が不明なため、未記載	実績	-	-	-	-	
深層水利用企業の直接雇用人数	目標	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
※深層水供給開始時期が不明なため、未記載	実績		-	-	-	
⑦成果目標及び進捗状況	事業成果効果 深層水供給開始10年後、 海洋深層水関連企業の年間総売上額 8,055百万円 深層水利用企業の直接雇用人数 450人 ※参照 平成29年度離島地域における海洋深層水を活用した地域活性化可能性調査調査報告書(内閣府沖縄総合事務局) 平成27年度実績 海洋深層水関連企業の年間総売上額 2,480百万円 深層水利用企業の直接雇用人数 140人					

エネルギー・水・食糧自給のモデル地域

取水量10倍でできること

1MW海洋温度差発電

深層水(設備増強)

電力(1MW)

海水(ろ過)

深層水利用事業

既存事業の拡張
技術と販売ルートが確立しており、確実な収益が見込める分野

新規からの活用へ
現在久米島で実証中の分野

技術デモンストラグラフ
他地域へのモデルとしての技術デモ

技術開発
将来需要が高い分野の研究開発

増加する深層水需要と主要新規プロジェクト

1. 深層水供給開始10年後の需要予測

2. 深層水供給開始10年後の需要予測

3. 深層水供給開始10年後の需要予測

4. 深層水供給開始10年後の需要予測

5. 深層水供給開始10年後の需要予測

6. 深層水供給開始10年後の需要予測

7. 深層水供給開始10年後の需要予測

8. 深層水供給開始10年後の需要予測

9. 深層水供給開始10年後の需要予測

10. 深層水供給開始10年後の需要予測